

皆さんこんにちは、エコまち未来プロジェクト分科会の発表を行います。

私たちのグループは、

◎エコプラットホーム、 ◎ゴミの削減、 ◎小水力発電推進と、

3つのテーマを設けて活動してまいりました。

これからそれぞれのテーマについて発表します。

まず最初に「エコプラットホーム」について発表します。◎

※タイトル：エコプラットフォームに行ってみたら……

エコプラットフォーム…ってなに

何が出来るの？

どなたも最初にそんな疑問がわいてくると思います。

すこし解りやすくするために、サブタイトルに

◎『情報の陽だまりサロン』

と付けてみました。逆にちょっとわからなくなったかな…

◎それでは説明に入ります。

皆さん エコ って何でしょうか？

◎環境にいいこと、環境が良くなることで ◎皆が安全で豊かな生活をおくることですね

それでは環境をよくする為にどんなことをやっていますか？

◎いろいろな手段がありますね

◎ゴミの削減、 ◎発電による省エネルギー、 ◎廃品回収、 ◎ミニマリスト思考者など

それぞれが個々にテーマを掲げてグループで活動されている方々◎、

あるいは、◎あえて目標を掲げるのではなく、日ごろから「もったいない」を心掛けている方々など
多種多様ですね。(画面注意)

このように、多くの人たちがそれぞれの考えに沿って異なった方法で努力していますね

◎もし(一呼吸) ◎この人たち全員が同じベクトルで、手をつないで、

同じ目的に向かって行動したらどうでしょう◎(一呼吸)

そこには、◎とても大きな力が発生します。◎(一呼吸)

この力が、◎エコの町、 ◎無駄の無い町、 ◎活気のある町、を築き

◎元気な「島田市」が出来るとはならないでしょうか。

私たちはその土台となる場所をつくろうと思います。◎(一呼吸)

◎エコ活動を進めているグループの皆さん、

◎たくさんグループ活動の話を知りたいありませんか？

◎もったいないを実践している皆さん

◎自分とは別の「もったいない」を知りたいありませんか？

◎多くの人たちが、自由に集って談話を楽しみながら、意見を交わし、知識を深めるための
出会いの場所・・・

◎そしてそこで得た情報や知識が、まるで体内を巡る血液のように
常に市内を循環して元気の源になる
自由な談話の出来る「陽だまりサロン」 つまり
◎「エコプラットホーム」です。

◎私たちは、この理念のもとで自主開催を行うことにしました。
◎準備するなかで出て来た最も大きな課題は
◎どうしたら（一呼吸） ◎自然な会話が出来るか…でした。
◎あえてテーマを構えて、会議室で大上段に『さあ、始めましょう』…という方式では
◎本来の目的とかけ離れたものになってしまいます。
では、どうしたらこれを避けることが出来るか
◎いろいろ試行錯誤した結果
◎「ワールドカフェ」という方式を採用しました。
◎カフェを会場として、 ◎お茶を飲みながら雑談を交わすような雰囲気にする
◎型枠にとらわれない自由な発想を持ち、この発想を互いに交換し合って新たな発想を
生み出すという手法です。

◎そしてこの方法で2度開催しました
残念ながら、ごく少ないメンバーによるスタートでしたが
◎私たちにとって、 ◎斬新な発想による ◎多くの意見を得ることが出来ました。
◎この結果には大変な喜びとともに自分たちの方向性が間違っていなかったことを認識しました。
◎さらに（一呼吸）、 ◎私たちにとって得たものはこれだけではありませんでした
それは ◎「新しい出会い」でした。
◎知らない人どうしが出会って同じテーマで会話を楽しみ、
◎それぞれが新たな仲間を呼び込み
また新たな出会いが始まる。
出会いが、出会いを呼んで ◎人の繋がりや輪が広がる仕組みとなることが出来る
結果は成功しました。

◎今後は会話を楽しむ、お茶飲みの会では意味がありません
◎どんな方法で情報を発信するのか、
◎どうして生まれたアイデアを実践するのか、
◎どうしたら結果を検証することが出来るのか
◎など まだまだ、多岐にわたる改善は必要ですが
◎一歩踏み出したことは事実です。
◎この小さな一歩の積み重ねがエコプラットフォームの恒久化となり

島田市の活性化につながると信じております。◎

私たちは目指します

- ◎島田市が環境の先進都市であることを
- ◎島田市が元気な市であることを
- ◎島田市が魅力のある市であることを
- ◎それを作るための『情報の繋ぎ人』であることを

(メンバーの名前が画面に出るのを確認してから)

◎ご清聴ありがとうございました。

ゆっくり時間を掛けてを意識する。